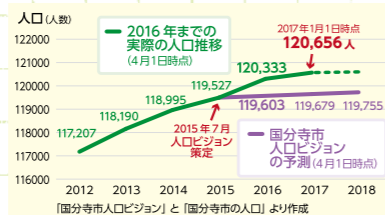




市長 人口は増加しているのに「減少する」

- ▶ 保育園や学童保育所、教室の増設に本気で取り組まない
- ▶ 高齢者施設、障害者施設の増設も不十分

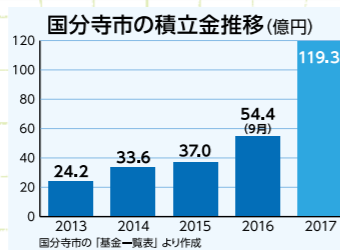


日本共産党 人口増に対応した公共施設の整備を



市長 積立金は119億円になるのに「財政は厳しい」

- ▶ 国民健康保険税、介護保険料の値上げに加え、保育料の値上げも検討
- ▶ 高齢者生きがい入浴事業の再開を拒否。介護予防も削減



日本共産党 子育て・教育・医療・介護・福祉優先のまちへ



市長 市民の声をまったく聞かない!

- ▶ 総合ビジョン*・実行計画の策定に市民説明会やパブリックコメントさえ実施しない
- ▶ 市民プールの統廃合計画は市民の反発で延期に
- ▶ 国分寺まつり出店拒否問題で東京弁護士会からの「人権侵害の是正」要求も無視



日本共産党 市民の声を活かす市政を



市長 民主主義を真っ向から 否定!

- ▶ 総合ビジョン*から、憲法の精神である「平和」「人権」「男女平等」「健康で文化的」を削除
- ▶ 市議会で気に入らない会派と議員に答弁しない
- ▶ 数の力で押し通すアベ政治そのもの



日本共産党 憲法の理念が生きる国分寺を

※市の最上位計画で今後8年間の長期計画

お気軽にご連絡ください

岡部 ひろあき

幸野 おさむ

中山 とう

政治の焦点の「今」をわかりやすく伝えます

市政の隠された真相や真実を発信中!

時には料理などの趣味の投稿も!

@okabehiroaki

@osamukono0901

go.nakayama.79



市民の声で真の市民自治を



井澤市政は、国分寺市総合ビジョンの策定から、市民を排除

井澤市政

- ▶ 来年度からの長期総合計画「総合ビジョン・実行計画」の策定では、市民説明会もパブリックコメントも実施せず
- ▶ 「総合ビジョン」策定の大前提である、現行の「第4次長期総合計画」の総括も、市民の意見を聞かず

第4次長期総合計画と総合ビジョンの市民参加比較

	現行の第4次長期総合計画・基本計画	市民参加の比較	総合ビジョン・実行計画
市民説明会	4回実施	▼	なし
パブリックコメント	1回実施	▼	なし
ワークショップ	基本構想と一体で実施	▼	1回
ワークショップの形態	7部会	▼	全体会
ワークショップの回数	部会ごと17回~22回	▼	1回
参加可能な対象者	全市民	▼	3000人の抽選
全体の策定期間	約2年	▼	約1年

日本共産党

- ▶ 「市の最上位計画にあたる総合ビジョン・実行計画」について、市民説明会もパブリックコメントも実施しないのは、自治基本条例違反だ!
- ▶ 「市民による現行の第4次長期総合計画の総括・評価は、必ず実施するべき」

国分寺市自治基本条例 前文より

私たちは、地域のことは市民自らが責任をもって決めていくことが市民自治の基本であり、国分寺市が自主性、自立性を高めることが地方主権を確立するために不可欠であると考えています。

私たちは、市民が主権者であり、国分寺市は、市民の信任によって創られてきたものであることを認識し、日本国憲法に基づいて、平和を希求し、人権を尊重し、男女平等のもと市民が生き生きと暮らし活動できるまちの実現を目指し、情報の共有、参加と協働を通じ、真の市民自治を確立し、地方自治の本旨を国分寺市において実現するため、ここに、国分寺市の最高規範として、自治基本条例を制定します。

憲法と民主主義を守り活かす市政へ



井澤市政

- ▶ 国分寺まつりの出店拒否問題
東京弁護士会からの「人権侵害」との指摘に、反論も意見表明もせず、また出店拒否を強行
- ▶ 国分寺市ビジョン
「平和」「人権」「男女平等」「健康で文化的」という日本国憲法の理念を削除
- ▶ 議会
都合の悪い議員や会派の質問には答弁せず、一方で自民党議員には、長々と答弁。二元代表制による議会制民主主義を無視



日本共産党

- ▶ 「“人権侵害”を指摘される市政は大変深刻だ。しかも、指摘されているのに対応しない井澤市長はより大問題!
- ▶ 今、立場の違いを超え、日本国憲法の理念や議会制民主主義を、守り活かす政治に転換しなければ、取り返しのつかない市政になってしまいます。

国分寺まつりの出店拒否問題

東京弁護士会からの要望書▶

超党派11市議が求める — 市長は「人権侵害の是正」要望書に回答を!

東京弁護士会から「表現の自由の侵害を是正するよう求める」要望書が出されていることについて、日本共産党、民進党、社民党、生活者ネット、無所属の市議11名は連名で「東京弁護士会の見解に対して、速やかに回答するよう」強く求める要望書を市長に提出しました。

貴市が、これを黙認するだけでなく、漫然と市報に出店の広告を掲載して、両実行委員会の判断を助長したことは、これらの団体に所属する申立人らの表現の自由を侵害するものでした。

※「両実行委員会」とは、2014年・2015年の国分寺まつり実行委員会のことです

野党共闘

国分寺市では、市民連合@国分寺の呼びかけにより、毎月、超党派(日本共産党、民進党、社民党、自由党、生活者ネット、無所属)でのリレートークが行われています。

市民と野党の幅広い共闘により、新しい政治の流れをつくりましょう!



2016年12月 市議会報告 日本共産党 国分寺市議団

2017年2・3月 日本共産党国分寺市議団は上記の見解を発表しました。
発行元:日本共産党国分寺市議団 国分寺市戸倉1-6-1 国分寺市役所 控室 TEL・FAX 042-325-1330

岡部 ひろあき
国分寺市内藤2-17-19-B
Tel/Fax: 042-571-4647
Mail: okabe226@gmail.com

幸野 おさむ
国分寺市東恋ヶ窪 4-18-8 アスコットビル202
Tel/Fax: 042-324-0588
Mail: politicalboy-osamu@y8.dion.ne.jp

中山 とう
国分寺市西恋ヶ窪 1-19-16
Tel/Fax: 042-323-9581
Mail: go-nakayama@snow.ocn.ne.jp

市政は、市民のために

～ 12月議会での日本共産党の討論から～

この間、国分寺市では、税金の大半が「国分寺駅北口再開発」などの「大型開発」に使われてきました。日本共産党は「だれもが安心して暮らせる国分寺市」を目指し、子育て・教育・医療・介護・福祉の充実を求めています。

記事の詳細は
Blog
ここに幸あれ!
国分寺市
ここ幸 国分寺 検索

市民の暮らし第一の市政へ

子育て・教育・医療・介護
福祉優先のまちづくり

子どもの医療費無料化、
所得制限の撤廃を!

日本共産党は、長年にわたり、子どもの医療費無料化を追求してきました。12月議会では「所得制限の撤廃を」と市に迫りました。市は「検証してきた結果、詳細な部分までたどり着いた。しかるべき時に報告したい」と答弁し、実現が近づいています。

学校の普通教室増設と、
特別支援学級の充実を

大問題になっている教室不足。幸野議員は「9小と10小の教室増設は早急」「2小・4小・7小についても計画的に増設を」と求めました。

年度	
9小	2017
10小	2017
4小	2019
2小	2020
7小	2020
2中	2021

各校の教室が不足する年度
※国分寺市教育委員会の「各校教室数の今後の予測」より

では増設を決定し、「その他の学校についても市議会と相談したい」と答弁しました。

2018年度から、情緒不安の児童などが通う「通級学級」が、「巡回型の特別支援教室」に再編される問題では、幸野議員が「現在の水準を後退させず、格差をつくってはならない」と追及。市は「状況によって見直したい」と答弁せざるを得ませんでした。

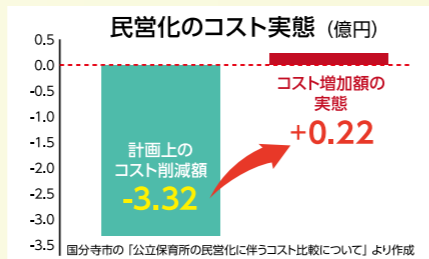
保育園の民営化は中止を!
保育料の値上げはストップさせました!

昨年10月時点で認可保育園の待機児童は304人です。にもかかわらず、市は「市立ほんだ保育園」の民営化を決めました。幸野議員は「この間、3園の民営化により①51人もの保育士を手放し、②コスト削減どころか、逆に2千万円もコストを増加させている。③待機児童の解消に逆行する民営化は、即刻中止すべきだ」と求めました。

多子世帯ほど値上げされる保育料については、9月議会で幸野議員が「検討委員会に対して、提出すべき資料を示していない」と追及し、値上げを一時ストップさせています。

学童保育所の増設を!
4年生以上の受け入れも早急に

「非常口の前にイスが…」子どもが落ちつけるスペースがない」17の学童保育所のうち、13の施設で登録児童が定員を上回る状況は深刻です。にもかかわらず、市はまともに増設する気がありません。幸野議員は「10年前から『本多学童保育所』の改修計画を放置し続け、来年度からの実行計画にも記載しないのは無責任だ。民間の誘致だけでは不十分だと指摘し、「ギョウギウギウギな施設が多く、いつ事故が起きてもおかしくない状況であり、早急に増設と改修を実施するよう」強く求めました。



成果指標	単位	初期値 平成18年度	現状値 平成22年度	目標値 平成28年度	指標の説明
児童館大規模改修事業の実施設数	施設	0	0	1	本多児童館・学童保育所は建て替えを含む整備を行う。

国分寺市の「第4次長期総合計画・後期基本計画」
(2012年度～5年計画) P41より抜粋

バリアフリーと環境重視のまちづくりへ

市民プールの統廃合計画は延期させました!
必要な公共施設は増設を!

市は「人口は減少するから公共施設は複合化(統廃合)が原則」として、子どもたちや市民をギョウギウギウギの施設に詰め込んでいます。しかも、多くの高齢者が介護予防等で利用する、市内に一つしかない市民プールも第9小学校プールとの統廃合を打ち出しました。しかし市民からの猛反発と、中山議員と岡部議員の「市民の意見を聞くべきだ」「市民プールの利用が後退する」との追及で、計画の延期に追い込んでいます。市の人口や児童の数は、国分寺駅の北口再開発580世帯や、日立中研2か所のマンション群の建設など、今後とも増加が予想されるため、公共施設の整備は急務です。



市民の負担と我慢によって
積み立てられた財政は、
市民に還元すべき

①くらしと経済を壊した「消費税の増税」と、
②約470億円もの市民税をつぎ込む北口再開発の一部敷地売却益「150億円の収入」等により、市の積立金が増加しています。
日本共産党は、市民の負担によって積み立てられた財政は、「人口増に見合った公共施設(子育て施設や高齢者施設、障害者施設の整備)や、西国分寺駅東口と恋ヶ窪駅東口の開設」等「バリアフリーと環境重視のまちづくり」に振り向けるため、「井澤・自民党の市政を転換しよう」と訴えています。

環境部を廃止

さらなる大型開発か

市は「環境部」「都市建設部」「都市開発部」を統廃合し、独立した「環境部」を廃止。「建設環境部」と「まちづくり部」に再編しました。日本共産党は「環境保全が後退するとともに、大型開発推進をもくろむものだ」と厳しく批判。



市民に負担と我慢を押し付ける 井澤・自民党市政を転換しよう!